

令和5年(2023)12月 入域観光客数概況(速報)

66万6,600人

対前年(R4)同月比 +3万1,600人、+5.0%

～12月としては復帰後4番目、対前年同月比で25ヶ月連続の増加～

※(R元年度)同月比 ▲8万8,500人、▲11.7%

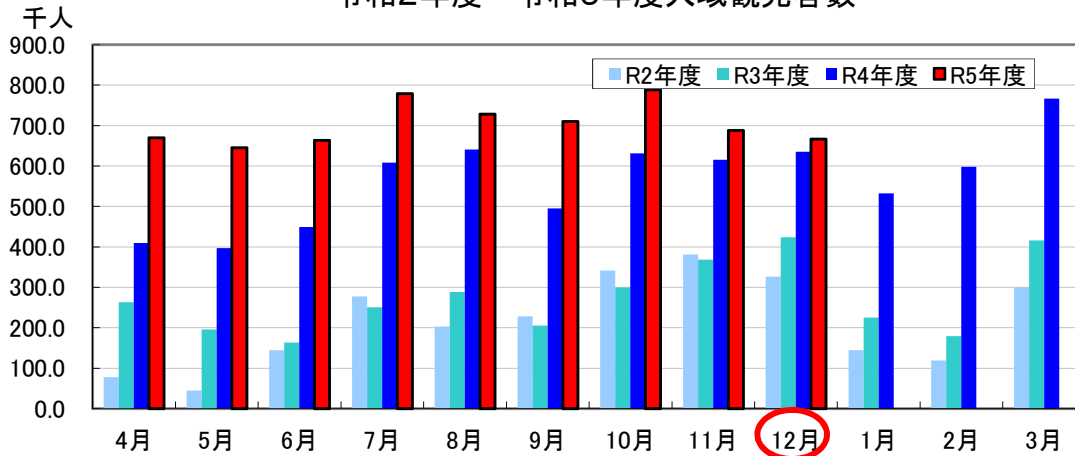
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,500人	602,200人	△30,700人	△5.1%	85.7%
外国客	95,100人	32,800人	+62,300人	+189.9%	14.3%
合計	666,600人	635,000人	+31,600人	+5.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等2,800人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、修学旅行シーズンであること、国内でも人気のNAHAマラソンが通常開催されたことのほか、横浜発大型クルーズ船の寄港や年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着チャーター便等があったものの、昨年の全国旅行支援(第1期(10/11～12/27))の反動減等により、前年同月を下回った。

1月は、羽田空港の衝突事故による欠航等の影響が懸念されるものの、同月に4回実施される那覇発着フライ&クルーズや沖縄本島で開催される桜まつり、石垣島・宮古島等のマラソン大会での来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

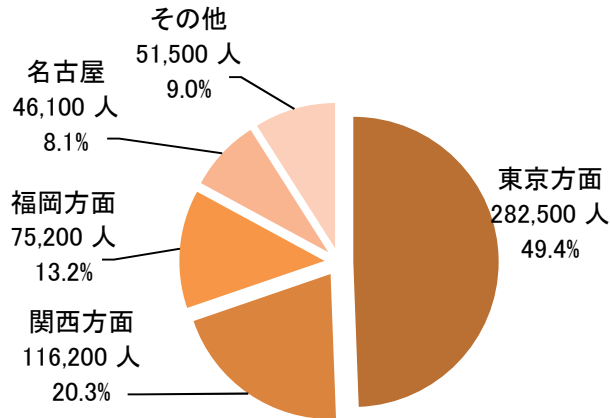
国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,500人	297,800人	△15,300人	△5.1%	49.4%
関西方面	116,200人	124,200人	△8,000人	△6.4%	20.3%
福岡方面	75,200人	75,300人	△100人	△0.1%	13.2%
名古屋	46,100人	55,700人	△9,600人	△17.2%	8.1%
その他	51,500人	49,200人	+2,300人	+4.7%	9.0%
合計	571,500人	602,200人	△30,700人	△5.1%	100.0%

※国内海路客5,000人含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和6年3月の公表を予定しています。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

1月は、羽田空港の衝突事故による欠航等の影響が懸念されるものの、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等での来訪が期待できること、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便があることから、好調に推移すると見込まれる。

関西

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等での来訪が期待できること、年始・連休に係る航空会社の増便があることから、好調に推移すると見込まれる。

福岡

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンの通常開催等があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月をわずかに下回った(△0.1%)。また、令和元年同月に対しては上回った。

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等での来訪が期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

名古屋

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による季節運航(名古屋-宮古/石垣(12/22~1/8))があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減や昨年同時期に運航されていた名古屋-石垣便運休等で前年同月を下回った。

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等での来訪が期待できること、年始・連休に係る航空会社の季節運航があることから、好調に推移すると見込まれる。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和6年3月の公表を予定しています。